

“There is a happy land” (後日本で『小学唱歌集初編』(1882年)第15「春のやよひ」になった讃美歌)に言及

The song I send "Uaja Kajalei," is translation of the child's song, "There is a happy land." "Ruk Jirani" is the bible song; the original is found in the Anniversary Songs of the N. York Sunday School by L. Wilder.

ミクロネシアの最初の宣教師
スタージスの書簡 (1856年
2月13日)

出典：American Board of Commissioners for Foreign
Missions. Paper (Primary Source Media / Cengage
Learning)

それだけミッションが熱心に活動したことの証拠でしょう。特に日本の近代教育に対するミッションの影響は無視出来ないものでしょう。でも、たいてい無視されることが少なくないのですが。

§10 伝道にとつての音楽

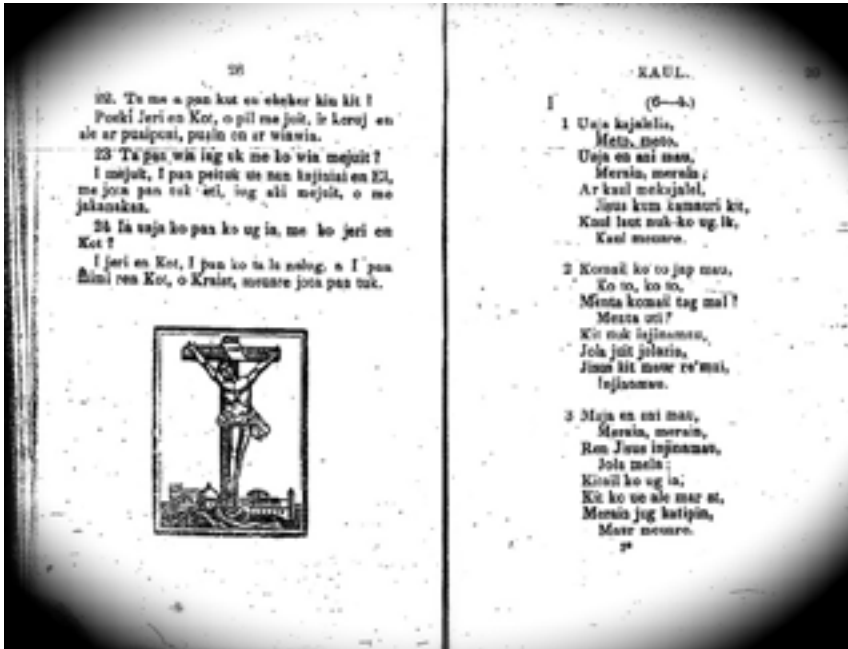
— お話をうかがってきて私の中で混乱してきましたのですが、宣教師にとって本来の目的はキリスト教を伝えることですね。

もつと言えば、キリスト教の信者さんをたくさん作り出して彼らが現地で教会を組織すること、宣教が成功したか失敗したか評価する場合の重要な基準がそれです。

— 今日本の大学で盛んな評価を、宣教師たちも受けていたのですか。

もちろんそうです。先ほど言いましたように、信者一人ひとりの貴重な寄付によって活動しているわけですから、当然評価されます。彼らはですからじつにために、本部や支部に宛てて手紙を書きますし、それもたいていはかなり長いものです。その他に義務として、年間報告書も提出しますし、年大会で報告したりもします。ちよつと話題がそれでしたが。

— 話題を戻しますが、そういった宣教師の本来の目的と讃美歌との関係が



1858年に出版されたポナペ語教科書に収録されている讃美歌“Uaja Kajalelia (There is a happy land)”

出典：Kaul sarau kai men kakauletaon seopa. (1858). Salon, Ponape: Misineri en Meriki kai me intin o kaparapar kisenlikau uet. / Bishop Museum 所蔵

ちょっとばくぜんと言いますか、私の中ではつきりしないのですが。讃美歌はそんなに重要だったのですか？

布教活動の中での讃美歌の位置づけ、ということですか？

——大学の先生らしい言い方だとそうなります（笑い）。

さっき、評価の基準として現地にキリスト教の教会を作ることがある、と言いましたね。讃美歌はこれと関係します。ご存知だと思いますが、プロテスタントの教会では、毎日曜日には必ず礼拝をします。礼拝というのは、式次第と言いますが、プログラムと言いますか、そんなものですね。牧師さんのお話があったり、献金の時間があったり。そのプログラムの中には必ず歌を歌うプログラムがあります。その時に歌うのが讃美歌です。これがないと礼拝が成



ポナペで1858年に出版されたポナペ語教科書
出典：Specimens of printing at Ponape [microfilms]
(1857?) Ponape: s.n. / Hawaiian Mission Children's
Society 所蔵

立しません。南の島では、これが彼らにとってもっとも楽しいプログラムで、歌うために教会に集まってきたという面もありそうです。

それは置いておきまして、信者になったら必ず身につけなければいけないことのひとつが讃美歌が歌えるということです。教会に集まってきたものの、誰も讃美歌が歌えないでは、礼拝になりません。ですから言い換えますと、信者さんを作り出すためには音楽教育が必要なのです。そもそもヨーロッパでも音楽教育の起源の一つに教会での歌唱指導があります。という理由で、宣教活動の中に現地の人たちに讃美歌を教えるという活動が当然入ってきます。

§ 11 讃美歌集の仕事

——今讃美歌が話題になっていますが、讃美歌といいますが私たちでもいくつか聞いたことはありますが、具体的に目に見える形では、今でも本屋さんに行きますとあるコーナーで売っていますね。讃美歌集というのがありますね。あれが一つのそういう活動の形なのでしょうか。

ええ、そうなんです。いわゆる現地で、例えば日本なら日本にいた宣教師たちは讃美歌集を出版します。それは英語の讃美歌集をそのまま日本で出版するのではありません。大きな仕事は、英語で書かれた元の讃美歌の歌詞を翻訳することです。